

第 27 号

平成24年10月14日

山水会

発行

北海道山水会

〔北海道公立学校
事務職員協会OB会〕

会 長 挨拶

会 長 後 藤 隆 男

暑かった夏も過ぎ去り、あの暑さが恋しい今日この頃ですが、会員の皆様にはご健勝でお過ごしのことと拝察し、心からお喜び申し上げます。

残暑厳しく8月下旬から9月中旬の猛暑は、年輪を重ねた私達にとっては、かなり厳しい日々でした。

北国の季節の移り変わりは早く、過ごし良い季節となりました。



さて、私は去る9月8日の定期総会におきまして、会長に選任されましたが、その責務の重大さに身のひきしまる思いをいたしております。

皆様もご存じのとおり浅学非才の者であり誠に荷が重いことではございますが、幸いにも相談役並びに他の役員等、人格・経験等豊かな方々が揃っておりますので、特段のご支援とご指導をいただきながら一致協力して会長の職責を全ういたす所存でございます。

会員の皆様におかれましても格別のご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

本会も、昭和42年発足以来46年目を迎えましたが、会員数も230名余りとなっており、これも一重に会員皆様のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げるしいです。今年度、厚生労働省は自立生活できる「健康寿命」を発表しました。男性70.42歳、女性73.62歳となっており、北海道はコンマ3～4歳低いがほぼ平均に近い健康寿命自治体となっております。

高齢化が加速する中、当山水会のパークゴルフ大会など先輩諸氏のパワーは素晴らしく、日頃の練習のたまものなのか頭が下がります。

健康寿命向上のため先輩諸氏に劣らぬよう、私達も日々努力し楽しく飲み・遊び心豊かな生活を続けたいものです。

最後になりましたが、今後とも山水会発展のため、会員皆様の絶大なるご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、益々のご健康とご多幸を祈念し挨拶といたします。

総 会 報 告

総会は、出席者の方々が定刻に集まり、9月8日(土)KKRホテル札幌で開催しました。開会の言葉に続き、昨年度総会以降に逝去された藤田石英様他3名の方々ははじめ先に他界された先輩各位のご冥福を祈って黙祷で哀悼の意を捧げました。

つづいて、総会次第により会長の挨拶、新入会員の紹介を行い、出席された新会員2名の方から今後の抱負を込めた、力強いご挨拶をいただきました。

次に、本年めでたく、卒寿(1名)と傘寿(5名)を迎えられた6名の方々の披露しましたが、残念ながら今



回は全員欠席ということで、蒞著のある謝辞とご壮健なお姿を拝見することが出来ませんでしたが、受賞者の方々には、健康に留意され今後とも本会の発展のためご指導下さるようお願い申し上げます。また、受賞された皆様からの挨拶礼状は会報に掲載するとの報告がありました。

その後、議事に入り、議長に佐藤敏孝様を選出し、事業報告、会計報告、監査報告の議事が審議され、会場からは特に質問、要望等もなく満場一致で原案どおり承認をいただきました。

次に、本年度は役員改選の年ということで審議があり、会場より事務局案の提示をしていただきたいたとの発言がありましたので、事務局案の提示を行い、次のとおり新役員が満場一致で選任されました。

また、事務局からはここ数年総会の出席者が40名前後で推移しているが、会員の二割程度(50名)の参加を期待したいので、皆さん声を掛け合って参加をしていただきたいたとの要望がありました。

議長さんの手際の良い進行により、全て議事を円滑かつ迅速に処理し無事予定時間内に終了出来ました。佐藤敏孝様本当に有難うございました。

総会を終了後は、来賓である教育関係二団体の北海道公立学校事務職員協会の宇佐美会長、北海道公立学校事務長会の青陽会長から、自己紹介と各々の会の活動状況とそれぞれの課題などを丁寧にご説明をいただきました。昨今の道立学校を取り巻く環境の変化は、私たちの現職時代には想像することが出来ないほどであり、制度改正、条例・規則改正等が多岐に渡って目まぐるしく変わっていくことに驚かされ、現職の皆様のご苦勞を改めて知ることが出来ました。その後、別室において恒例の記念写真を撮り懇親会に移りました。

懇親会は、柴元繁様の乾杯のもと祝宴が始まり・カラオケとビンゴゲーム、今年はささやかでも全員分の景品が用意されましたが、やはりゲームが始まるとテンションが上がり、ガラガラポンで出玉の数字が読み上げられる度に、おトシなど全く忘れてのはしゃぎ様は、今年も変わらずで、会話も弾み時間を忘れるほどでしたが、最後に丹野正様の締め乾杯をもって、予定どおり全日程を終了することが出来ました。

その後、事務局が用意した二次会には二十数名の方が参加し、お酒を酌み交わしながらカラオケや近況を語り合い、更に旧交を深めることが出来ました。

平成24年度 山 水 会 役 員

相 談 役	林 光男	中村 康元	船本 敏雄	宗片 啓
会 長	後藤 隆男			
副会長(庶務担当)	加納 勝利	(会計担当)	土岐 輝雄	
幹 事 長	田村 裕明			
幹 事(庶務)	田中 耕子	川口 繁光	松山 次男	加納 諭
(会計)	中谷 和徳	佐藤 秀雄		
監 事	山本 邦彦	橋本 勝晴		

パークゴルフ大会盛会で終了

皐月の一、健康管理維持増進を図るため、本会事業の唯一のレクリエーションとして、平成15年度よりパークゴルフ大会を実施しています。

第9回目を迎えた今年は、5月27日(日)新篠津村ふれあい公園パークゴルフ場を会場に、参加者27名で実施しました。当日は、新たな集合場所に指定した苗穂駅に午前9時30分に集合し、受付後に送迎バスに乗り込み、新篠津村の会場に向かいました。

新篠津パークゴルフ場は昨年から実施しているコースなので、昨年以上の好スコアを期待しながら、各自張切ってナイスショットの掛け声と共に、優勝を目指してスタートをしていきました。

プレーの結果も気になるところですが、参加者の皆さんは皐月の青空の下、途中棄権する人もなく無事終了することが出来たことと、一年ぶりの仲間との交流に心地よい汗を流し十分満足した様子でした。

パークゴルフ終了後は、懇親会場のニューしのつクラブアイリスの温泉でのんびりと一風呂浴び汗を流した後、懇親会場の広間に集まり、成績発表と表彰が行われました。例年どおり1チーム3名の団体チームは、受付時にくじ引きにより決めますが、団体メンバーはそれぞれ別々のチームでプレーをするため、団体メンバーの成績は懇親会場で集計するまで判らないという、大変面白いルールであり、チーム成績が発表されるたびに大きな歓声と拍手の中で会長より賞品が渡され、入賞者からは機知に富んだ実に軽妙なコメントをいただきました。その団体戦の結果は、昨年の優勝、準優勝は共に70歳以上のベテラン勢のチ



ームが独占しましたが、今年は偶然にも60代、70代、80代で編成されたチームが優勝、準優勝を勝ち取りました。また、個人戦は70歳代が健闘し、優勝から3位までを独占してしまいました。参加者の皆さんの腕前は回を重ねるごとに少しずつ上達し、好スコアが出てようになって来ましたが、60歳代の若手の一層の上達が望まれるところです。

表彰式の後には全員で写真撮影をし、飲んでカラオケで歌い踊り、パークゴルフの成績や昔話に花を咲かせ、時間の経つの



も忘れ楽しく親睦を深めることが出来ました。

今年は天候にも恵まれ、爽やかな季節に仲間との交流を深め、心地よい汗を流し楽しい一日を過ごすことが出来ました。

パークゴルフは、自然にやさしく、人にやさしい三世代スポーツとして、年令に関係なく気軽に楽しめるスポーツです。是非、来年のパークゴルフ大会には多くの会員皆様の参加を願っております。

祝 卒寿おめでとうございます

宮 本 愛 子 様

卒寿の受賞のお礼と会員の皆様によろしくお伝えくださいとのメッセージが届いております。

祝 傘寿おめでとうございます

谷口 春吉 様
池田 保美 様
佐々木 健 様
山本 昭七 様
塚越 薫 様

谷 口 春 吉 様

この度は、傘寿のお祝いを戴きまして、まことに有難うございました。

傘寿を迎えましての八十年間はあっと云う時間でした。光陰矢のごとしの諺のとおり、沢山の先輩事務長、事務職員の皆様のご指導ご協力等により、最終室蘭工業高等学校で無事定年退職出来ました事を心から感謝申し上げます。

道立高校勤務三十六年間長かったようでもあり短かった気も致します。定年退職後は、支笏洞爺国立公園の洞爺湖町に定住しました。定年退職後二十年の前半の十三年は妻への感謝をかね、一年に一回を目標に足腰の丈夫なうちに国内ツアー参加と、少ないけれど外国旅行韓国、中国、台湾、ハワイ観光旅行ツアーに参加しました。海外旅行で特に心に残り忘れられない旅は、平成十七年三月二十九日のハワイ旅行のオアフ島観光で、真珠湾アリゾナ記念館ツアー参加でした。戦艦アリゾナと運命を共にした乗組員千二百名の表示された記念碑に涙を流し寄り添う白髪のアメリカ老婦人の姿、又戦艦アリゾナの巨大な前部二番砲塔台座が海水面から出ている附近の海面にドス黒い重油が出ている現況でした。日系アメリカ人の説明者が『日本は広島、長崎への原子爆弾攻撃でアメリカを非難するが、この原点は十二月七日の日本海軍の無通告真珠湾攻撃から始まっています』と、このフレーズを再三再四説明しておりました。大変に恥ずかしく穴がありましたらと思いました。

後半の七年間は、当地洞爺湖町には国立公園観光に国内国外から多くの観光客が来町されています。洞爺湖周囲の四季の風景そして温泉です。ありがたいことです。私は日常美しい四季の風景を眺め日帰り入浴《町民七十歳以上は、1日百五十円で日帰り入浴が出来ます。》を楽しんでいます。

当地でのんびり寿命まで長生きしたいと考えております。末筆になりますが、山水会の今後益々のご発展と会員皆様のご多幸とご健康をご祈念申し上げます。

池 田 保 美 様

拝復 この度は、私が傘寿を迎えるに当たりご丁寧なお祝いのお言葉とお祝いを頂戴いたし、誠に有難うございました。心からお礼を申し上げます。

お陰様で私、現在のところ病気で入院することもなく、月に一度の定期的になっている病院通いはして居りますが、毎日を拙宅で過ごして居ります。

さて、今年の夏秋の気候の変動は空知、上川地方を中心に、暑さと大雨が漸続的に続き岩見沢で九月十二日に降った雨量は116ミリと九月の観測史上最大の記録となったそうです。岩見沢の災害対策本部では、市内を流れている利根別川が氾濫するとして、午前5時10分と6時10分の二回に亘り、3,670世帯約3,900人に避難勧告を出しました。幸に我が家は、丘陵にある為に該当はしませんでした。当日の早朝にかけての落雷と激しい雨音には目が覚めてしまい、眠れずに朝となってしまいました。岩見沢市での被害はマアママで収まったようでホッとしました。

さて、遅くなりましたが、平成二十四年度の山水会総会も無事に盛会裡に終了したと存じます。

私、ここ数年、ご案内をいただきながら欠席をして居り、申し訳なく存じます。体調が良くなれば、是非又、出席をさせていただき度く存じております。

さて、九月十五日が従来の「老人の日」から「敬老の日」となり、九月十五日から二十一日迄が「敬老週間」とされ現在に至って来ているところですが、私も今年は長寿歳祝いの傘寿と云うことで、この度、会から丁重なお祝いのお手紙とお祝い金まで頂き、感謝に耐えません。重ねてお礼を申し上げます。

最後になりましたが、今後の山水会の益々のご発展を祈り、お礼とさせていただきます。

山 本 昭 七 様

この度は、傘寿のお祝いの御案内をいただき、誠に有難うございました。心より厚く御礼申し上げます。

本来ならば、総会に出席して皆様にお礼申し上げるべきところではありますが、体調が優れないため、誠に申し訳ございませんが、失礼させていただきます。

人生八十年を振り返った時、つくづく時の流れの速さを痛感せずにはいられません。これからは、皆様のご高配に感謝しながら一日一日を大切に、精一杯生きたいものと思っております。

末筆になりましたが、山水会のさらなる発展と会員皆様のご健勝をご祈念申し上げまして、お礼の言葉とさせていただきます。

佐 々 木 健 様

傘寿の受賞のお礼と会員の皆様によろしくお伝えくださいとのメッセージが届いております。

塚 越 薫 様

この度は、山水会より、傘寿のお祝いを戴き有難うございました。厚くお礼を申し上げます。

総会の案内と傘寿のご連絡をいただきましたが、当日は、通院の指定日となっていますため、欠席いたします。

山水会の益々のご発展と会員皆様のご健勝を祈念申し上げます。

山 水 会 の さ だ め

(目 的)

第 1 条 本会は、退職北海道公立学校事務職員が相集い、教育の今昔を語り、親睦を深めることを目的とする。

(会 員)

第 2 条 本会の会員は、前条の目的に賛同し、会費を納入した者をもって組織する。

(事 務 所)

第 3 条 本会の事務所は、会長の所在地におく。

(役員・任期)

第 4 条 本会役員は、次のとおりとする。

役員は総会において選出され、その任期は2年とする。

・ 相談役 若干名 会 長 1名 副会長 2名 幹 事 若干名(含む幹事長) 監 事 2名

2 会長は、幹事の中から幹事長を指名する。

(職 務)

第 5 条 役員の職務は、次のとおりとする。

① 相談役は、役員会の相談に応ずる。

② 会長は、会務を統括する。

③ 副会長は、会長事故あるとき職務を代行する。

④ 幹事長は会長の命により会務の連絡調整を行う。

⑤ 幹事は会長の命により会務を行う。

⑥ 監事は会の会計監査を行う。

(総会・役員会)

第 6 条 総会は年1回これを開き、役員会は必要に応じ会長が、これを召集する。

(慶 弔)

第 7 条 本会の慶弔に関することについては、役員会において決める。

(会費・年度)

第 8 条 本会の経費は、会費及び寄付金によるものとする。

2 会費は年額 2,000円とする。

3 会計年度は9月1日から翌年8月31日までとする。

(附 則)

1 この定めは、昭和42年4月よりこれを実施する。

2 この定めは、昭和48年9月より改正する。

3 この定めは、昭和52年9月より改正する。

4 この定めは、昭和57年10月より改正する。

5 この定めは、平成9年9月より改正する

6 この定めは、平成23年9月より改正する

お 知 ら せ

会員皆様の健康増進と地域会員相互の親睦・親交を深めるため、本会では助成金を出しております。地域仲間の活性化を図ってください。

次のような条件が整えば、助成金をお届けします。

記

1 パークゴルフ etc

2 参加人数 ○○人(会員10人以上を含む、参加者名簿添付)

3 開催日 平成 年 月 日

4 地区区分 道南(函館市・近隣) 道北(旭川市・近隣) 道東(帯広市・近隣)

5 助成金 5,000 円(年1回)

6 送金方法 銀行振込(銀行名、口座名義人、口座番号)

編集後記

「山水会会報第27号」をお届けします。

今年は、例年になく残暑が厳しい日が続きましたが、9月末になり暑さも一段落しました。観測史上では、今までにない真夏日の日数と言われております。

さて、世の中を見てみますと、われわれ国民の思いが届かないのか、届いても聞いていないのか、国の経営を考えるべき人たちは、自分の身を守ることに必死で、東日本大震災の復興も遅れがちとなっております。また、中国・韓国とのそれぞれ島を巡っての領有権問題、原発の廃止問題、消費税の増税と数えあげると切りがない位問題が山積しているにもかかわらず、現状の国会は何を論じているのかと思ってしまう。

今度、国政に出馬を決めた、日本維新の会などは、この状態を打破するためにいろいろな場で主張しておりますが、はたしてどうなるものかと思えます。

郵政改革と規制緩和で自由競争と論じて、大量当選をした自民党政権時代、この反動で国民の中に不満が積り新たな改革を求めている民主党の大量当選の、現在の政権。でも、あの意気込んでいた事業仕分けはどこにいったのか、天下り法人の解体はどこへいったのか。国債の発行を減らしての財政改革は、どこへ行ったのか。

何か、我々は、行方不明になったいろいろなものを探している感じです。年金暮らしの我々です、行方不明のものを探すのではなく、せめて幸せの青い鳥でも探し求めたいと思います。

なお、本会についてのご意見、ご要望がありましたら、下記役員までご連絡ください。

(連絡先)

庶務関係 ・ 幹 事 川口 繁光

会計関係 ・ 幹 事 中谷 和徳